

平成20年2月23日(土)、「第一回奈良市世界遺産学習実践研究会 日本国際理解教育学会実践研修会 奈良教育大学ユネスコ・スクール教育実践研究会」が開催され、210名の参加者を得て、ESD (Education for Sustainable Development) 持続可能な開発のための教育」と世界遺産教育への理解を深めた。

この研究会は、奈良市教育委員会の「世界遺産学習検討委員会」に、本学の田淵五十生教授が委員長、西山厚奈良国立博物館教育室長が副委員長に就任し、本学の森本弘一教授もメンバーの一人となったことに始まる。この検討委員会によって先に進められていた第一回奈良市世界遺産学習実践研究会に、本学が2007年7月にユネスコ・スクール(旧称ユネスコ協同学校)に加盟したことで、奈良市教育委員会・奈良国立博物館・日本国際理解教育学会に本学が加わって共催することとなり、奈良県教育委員会と(社)日本ユネスコ協会連盟、(財)ユネスコ・アジア文化センターの後援をいただいた。実践研究会は、基調講演を中心とした全体会と実践報告の分科会の二つの形式で行われた。基調講演での概略は以下のとおりであった。



西山教育室長の基調講演



秋山ユネスコ協力官の基調講演

## 「世界遺産教育」の 合同実践研究会の開催

—ユネスコ・スクールとしての地域貢献—

国際交流・地域連携委員会



◀ 奈良市平城西小学校の実践紹介

奈良市内の全小学校の5年生と中学校3年生の「総合的な学習の時間」で、地域の世界遺産にフィールドワークを行い、その成果をビデオレターやフォットメッセージなどで発信する実践が定着しつつあり、そのフィールドワークに協力するのが「ボランティアの会・朱雀」のメンバーである。テーマ

秋山ユネスコ協力官：「世界遺産教育」は教科や個々の課題の枠を越えた取組が求められる「総合的な学習の時間」の新しい教育課題である。  
寺尾部長：奈良で先駆的に取り組まれている世界遺産教育は、各地域にある文化遺産教育へと拡大することで全国的に展開できる教育資源になる可能性を持っている。  
西山室長：「古都奈良の文化財」は8世紀に生まれた。「いい物を作ろう。」「いい国を造ろう。」という思いが、人々の胸に著しく高揚した日本の青春時代であった。本当に素晴らしいものがあり、その学びができるのが奈良の子どもたちである。

### プログラム

基調講演①	「世界遺産学習とESDに期待するもの」 文部科学省国際統括官付ユネスコ協力官 秋山 和男氏 ユネスコ協会連盟事務局教育文化事業部長 寺山 明人氏
基調講演②	「奈良の世界遺産のすばらしさ」 奈良国立博物館教育室長 西山 厚氏

### 第1分科会

指定討論者・・・森本 弘一(奈良教育大学教授)・上田 啓二氏(奈良市教育委員会指導係長)

学校名	提案者名	提案テーマ
奈良市立済美小学校	大西 浩明教諭	「世界遺産のあるまち奈良」の「もの・こと・人」から
奈良市立田原小学校	櫻本 克之教諭	キャリア教育の視点から見た世界遺産学習
奈良市立椿井小学校	小島 源一郎教諭	私たちの世界遺産や校区を発信しよう

### 第2分科会

指定討論者・・・岩本 廣美(奈良教育大学教授)・山田 均氏(奈良県立教育研究所教科指導部長)

学校名	提案者名	提案テーマ
奈良市立平城西小学校	中澤 敦子教諭	世界遺産から平和を考えよう
奈良市立鼓阪小学校	西田 妙子教諭	世界遺産学習から地域を愛する心を育む
奈良市立三笠中学校	深澤 吉隆教諭	江戸時代の旅から奈良を再発見

### 第3分科会

指定討論者・・・今田 見一氏(文教大学准教授)・木村 慶太教諭(広陵町立広陵中学校)

学校名	提案者名	提案テーマ
奈良県立法隆寺国際高等学校	祐岡 武志教諭	世界遺産教育とESDの関わりについて
奈良市立一条高等学校	藤村 智子教諭	ユネスコ青年交流2006・2007
奈良教育大学附属中学校	谷口 尚之教諭	「世界遺産を通しての教育」への試み

がタイムリーであったために、市内の小・中・高等学校の先生方をはじめ、県外からの参加者やユネスコ教育に関心のある方々の参加も多く、会場に入り切れないほどの盛況であった。  
報告された実践は、大きく「世界遺産についての教育」と「世界遺産を通しての教育」の二つに分けることができるが、どの実践も最終的には、自分たちの「地域を見直して、奈良という地域を愛するアイデンティティを育成すること」を指すものであった。ESDを視野に据えた学習が行われており、大学・博物館・学会と連携した先駆的な学習モデルを提起するものであった。  
最後に会議総括の中で、田淵教授は「世界遺産は観光資源だけでなく、豊かな教育資源である」と指摘して、「教育は研究とは異なり、他の実践者の優れたアイデアを参考にしてほしい。仲間間の実践に学びながら実践の質を高めよう」と提案して会を閉じた。